剣道専門部ガイドライン（令和２年度新人大会）

1. 試合は、無観客で行う。開会式並びに閉会式は行わない。
2. 団体・個人ともに、先に女子の試合を決勝までおこない、その後男子の試合を実施する。女子が試合するときには、男子は会場には入れない。また、逆も同様とし「二部構成」で運営することで、密を避けることを目的とする。
3. 試合で敗れたチームは後片付けをし、順次帰宅する。
4. ウォーミングアップは、女子の試合前（女子）と、女子の試合の終了後（男子）に時間を取り実施する。更衣については、できるだけ家庭で済ませてくるよう努力する。
5. 選手は「参加承諾書」を提出し、全ての関係者は「健康チェックシート」の提出をする。顧問が回収し、約２週間保管する。
6. 団体戦は、試合の１試合前までは、後方（選手控え）で待機する。試合後は速やかに（選手控え）に戻り、試合場エリアに残らないようにする。個人戦についても同様とする。
7. 試合中は、面マスクを必ず着用する。面シールドについては任意とする。（全剣連の周知参照）また、試合待機中など、試合以外の時は、家庭用マスクを着用する。

面マスクは医療用のものでなく、息苦しくないものを使用すること。加えて、必ず口に直接触れていることとする。

1. 役員・審判員を含め全ての関係者は必ずマスクを着用する。
2. 通常通り「応援は拍手のみ」であるが、特に今大会は徹底する。
3. 試合場は、通常よりも他の試合場との間隔を空け、選手控えのスペースを広く取る。
4. 試合後は、「手洗い」と「うがい」の徹底をする。
5. 各試合場の審判主任席には、必ずアルコール消毒液を置き、選手、審判、関係者が使用できるようにする。
6. 会場に入場できるのは「選手・部員、顧問、引率者、役員、審判員」とする。
7. 大会の2週間前からの行動歴が説明できるようにしておくこと。また、当日も含め、検温の記録、健康状態の記録についても同様に各自行うこととする。